

# 平成16年3月期 決算説明会

---

2004年5月27日

阪和興業株式会社

- 本年度決算は、経常利益ベースで前年同期比増収増益となるも、新年度からの新中期経営計画を強力に推進していくために、減損会計の早期適用を行ったため、当期純利益は減少。
- 中期経営計画の目標値に対して
  - ①売上高・営業利益・経常利益では達成しましたが、当期純利益では、83%の達成となりました。
  - ②有利子負債残高は、1,145億円と 目標を達成しました。

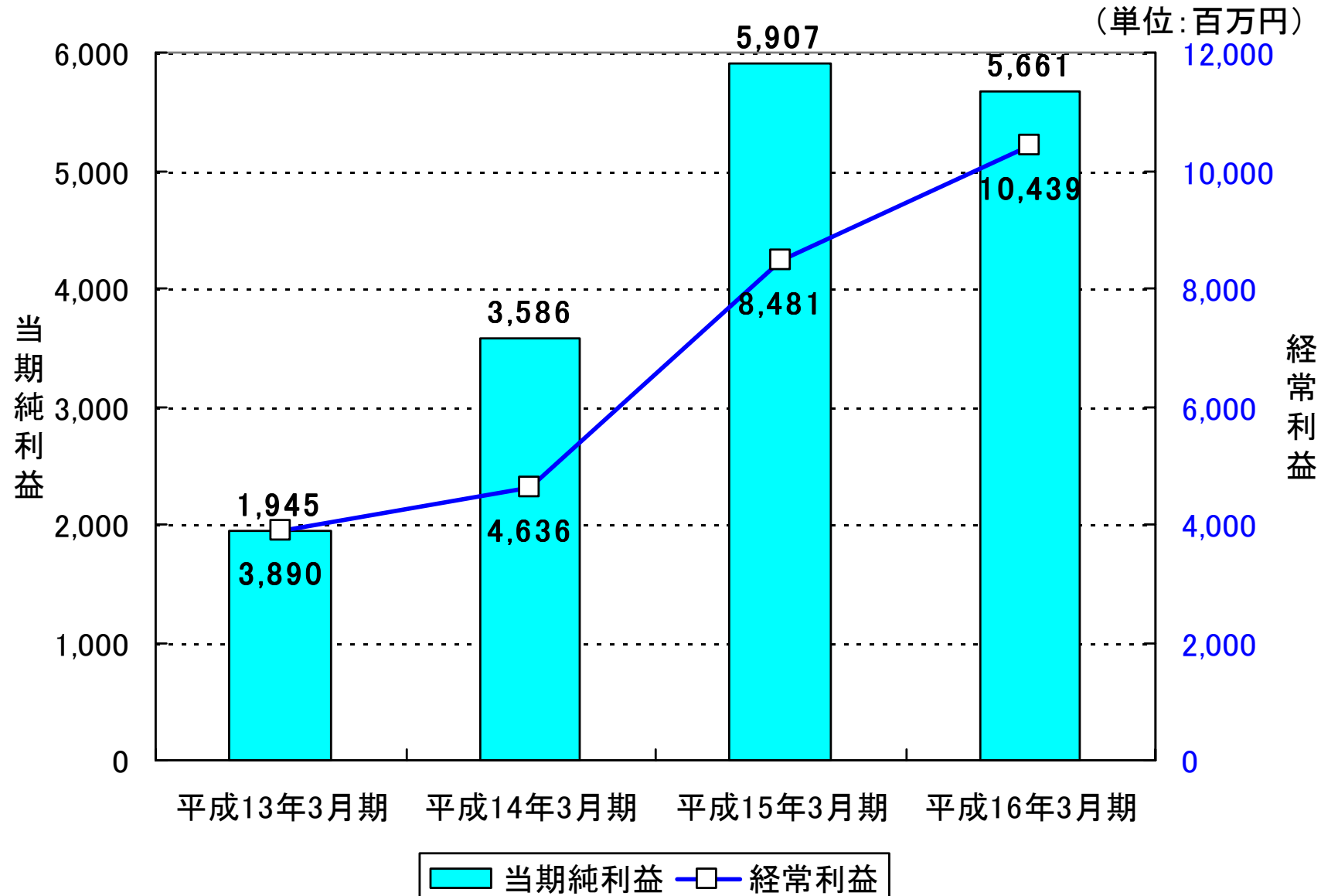
# 連結營業成績(前期比)



(單位: 百万円)

	当期	前期	前期比
売上高	751,964	682,963	+10.1%
営業利益	12,665	10,256	+23.5%
經常利益	10,439	8,481	+23.1%
当期純利益	5,661	5,907	4.2%
	当期末	前期末	前期末比
有利子負債残高	114,572	124,593	8.0%

# 当期純利益推移



# 財政状態とキャッシュフローの状況(連結)



(単位:百万円)

財政状態	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
当期	293,527	57,757	19.7%	272円67銭
前期	281,557	52,748	18.7%	249円30銭
増減額	11,970	5,009		23円37銭
キャッシュ・フローの 状況	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同 等物期末残高
当期	6,850	1,003	10,873	8,389
前期	3,268	835	10,114	27,808
増減額	10,118	1,838	759	19,418

## 当期実績と中期計画との比較



(単位:百万円)

連結ベース	当期実績	中期計画	中期計画 達成率
売上高	751,964	740,000	101.6%
営業利益	12,665	11,600	109.1%
経常利益	10,439	9,400	111.0%
当期純利益	5,661	6,800	83.2%
有利子負債残高	114,572	115,000	100.3%

# セグメント別の状況(連結ベース)



当期

(単位:百万円)

	鉄鋼	非鉄	食品	石油・ 化成品	その他	計	消去又 は全社	連結
売上高	409,390	79,633	84,571	135,125	43,242	751,964	-	751,964
営業費用	398,962	78,163	83,426	133,862	40,492	734,908	4,390	739,298
営業利益	10,427	1,469	1,144	1,263	2,750	17,056	4,390	12,665

前期

	鉄鋼	非鉄	食品	石油・ 化成品	その他	計	消去又 は全社	連結
売上高	365,587	65,038	92,422	115,850	44,064	682,963	-	682,963
営業費用	358,296	63,808	89,937	114,639	41,787	668,469	4,237	672,707
営業利益	7,291	1,229	2,485	1,210	2,277	14,494	4,237	10,256

増減額	鉄鋼	非鉄	食品	石油・ 化成品	その他	計	消去又 は全社	連結
売上高	43,803	14,595	7,851	19,275	822	69,001	-	69,001
営業利益	3,136	240	1,341	53	473	2,562	153	2,409

# 平成17年3月期の業績予想



## 連結

(単位:百万円)

	中間期	通期	平成16年3月期
売上高	391,000	800,000	751,964
経常利益	5,500	11,000	10,439
当期純利益	5,300	10,600	5,661

## 単体

	中間期	通期	平成16年3月期
売上高	384,000	786,000	741,053
経常利益	5,000	10,000	9,514
当期純利益	5,000	10,000	5,696

	年間	中間	期末
1株当たり配当金	6円00銭	-	6円00銭



# 阪和(単体)における中国ビジネス



## 輸出

(単位：百万円)	当期	前期	増減額
鉄鋼	59,509	43,382	+16,127
非鉄	11,543	9,320	+2,223
食品	1,845	582	+1,263
石油・化成品	2,125	1,304	+821
その他	1,541	1,406	+135
合 計	76,563	55,994	+20,569

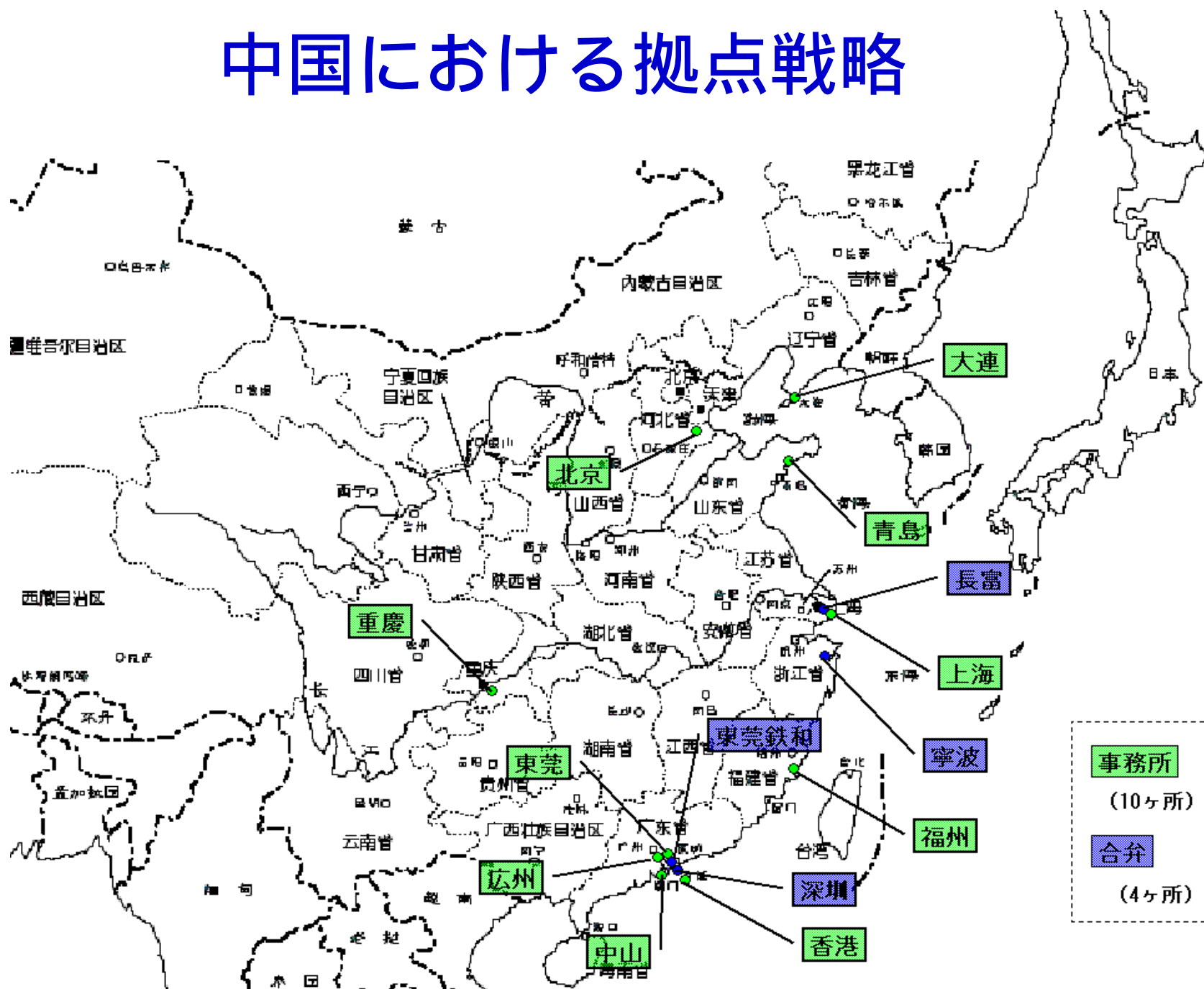
(注)数字には加工取引のための原料供給が含まれております。

## 輸入

(単位：百万円)	当期	前期	増減額
非鉄	8,159	8,101	+58
食品	11,870	12,819	949
石油・化成品	578	826	248
その他	4,724	4,315	+409
合 計	25,331	26,061	730

(注)数字には加工取引のための製品引取額が含まれております。

# 中国における拠点戦略



本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

# 中期経営計画

## 2004 - 2006

---

2004年5月27日

阪和興業株式会社

私たちは 更なる飛躍をめざし、  
持続的成長と企業価値の増大を実現させるために、  
「3つの挑戦」に取り組めます。

## 視点の変革

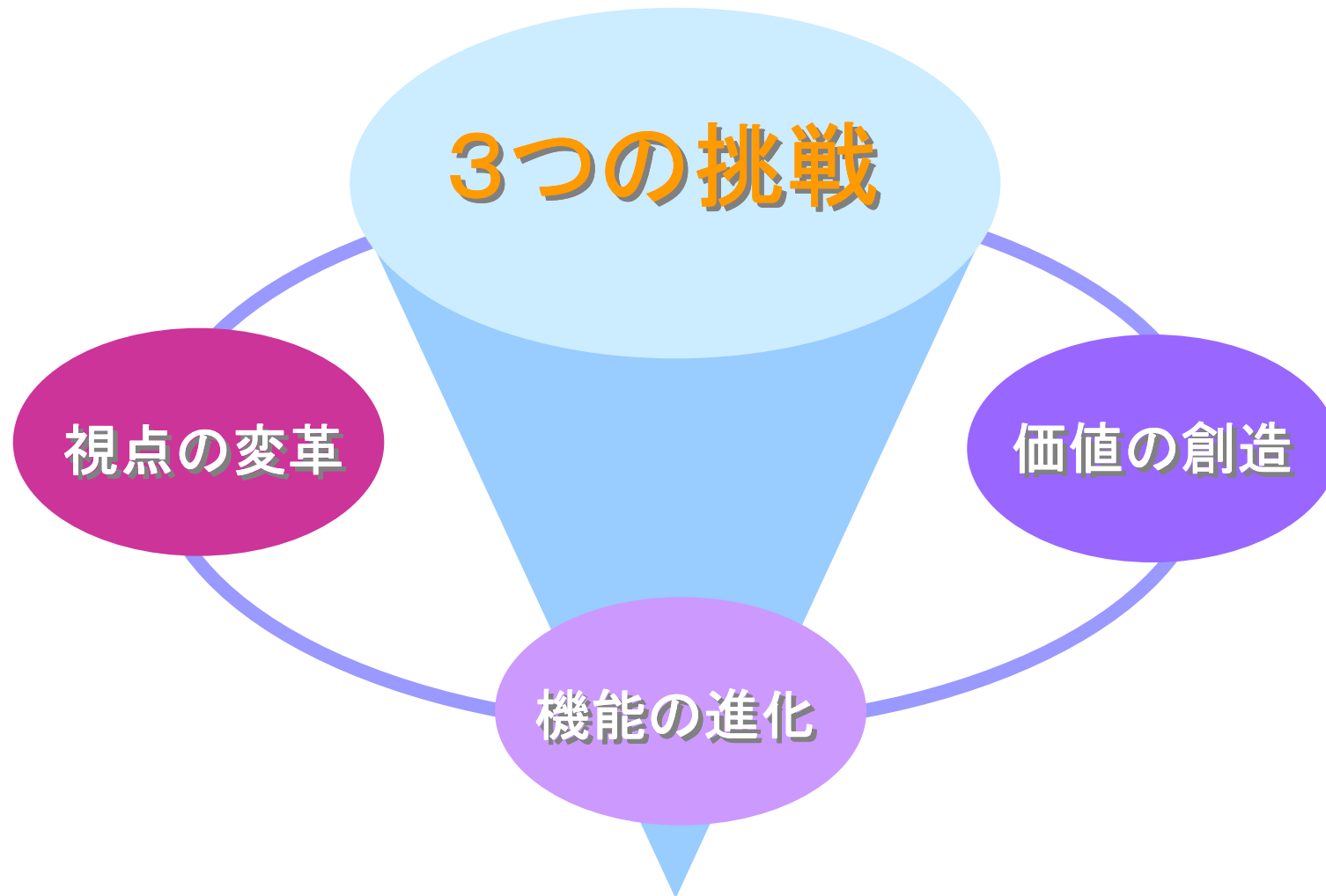
- ・・・ 既成概念にとらわれない柔軟な視点

## 機能の進化

- ・・・ 顧客志向と「流通のプロ」としての進化

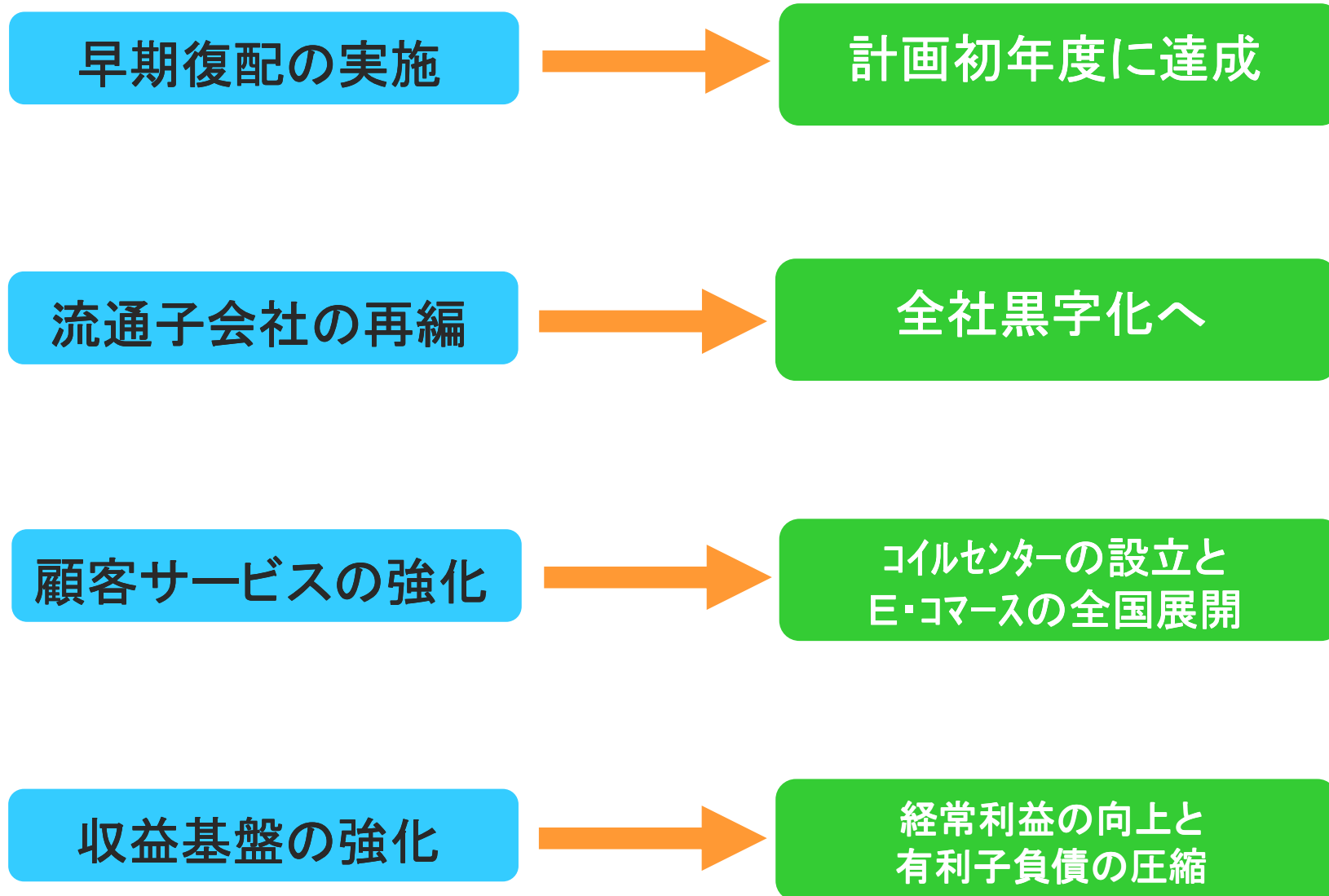
## 価値の創造

- ・・・ 企業価値の増大と  
信用と信頼を高める企業文化の醸成

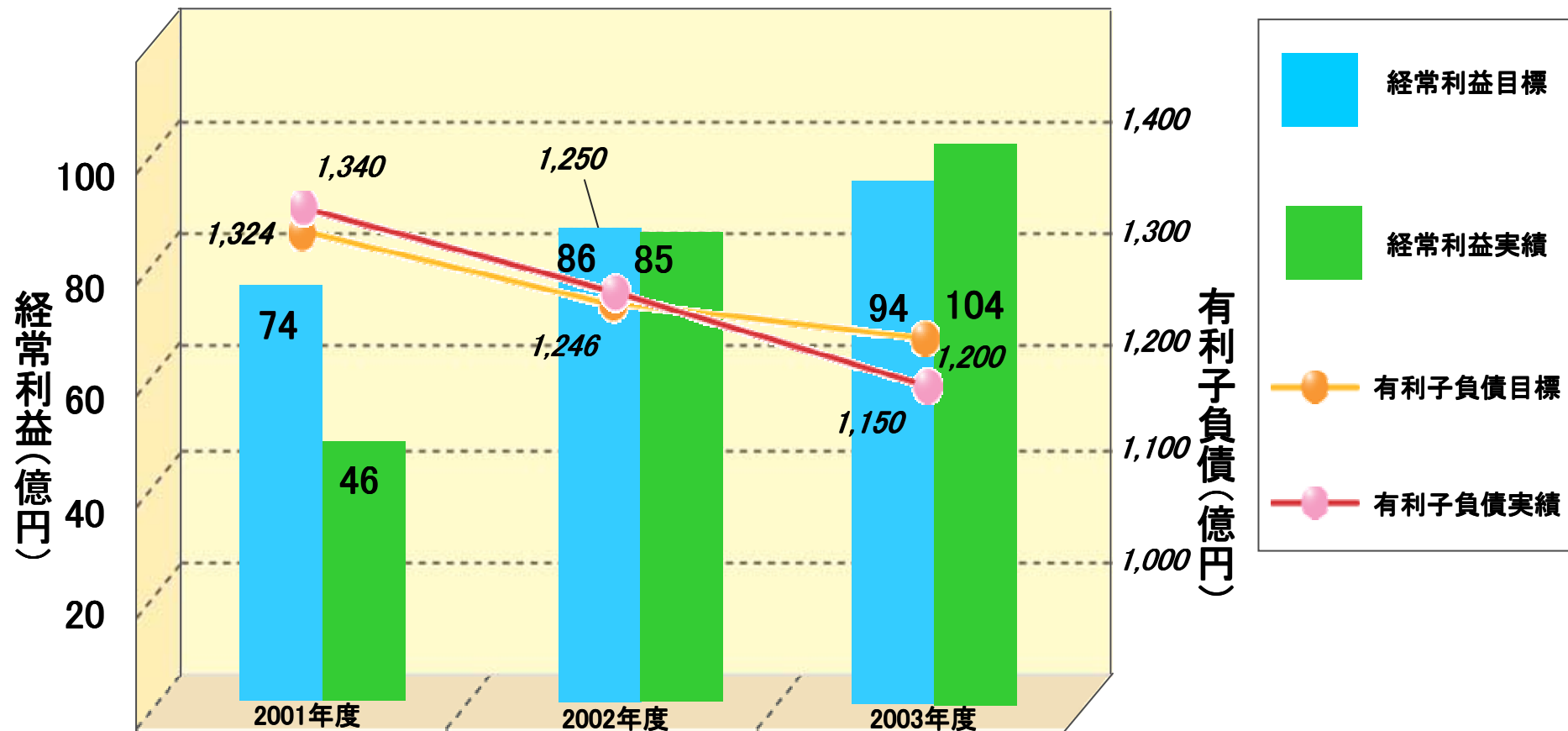


## 持続的な企業成長サイクルの確立

# 前中期計画に対する検証①



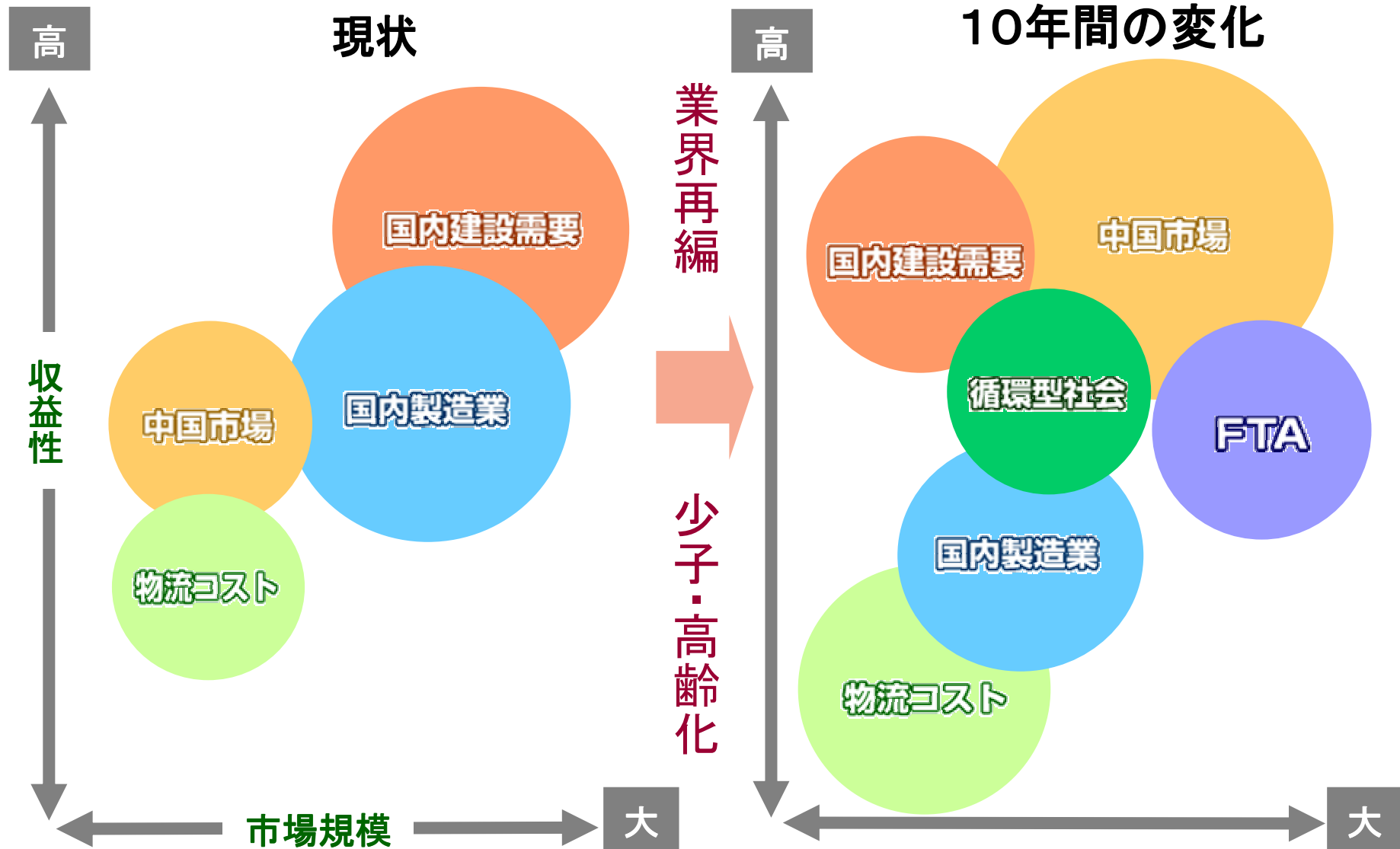
# 前中期計画に対する検証②



中国市場の伸びと鉄鋼・非鉄金属の市況の好転に支えられて、2003年度に経常利益で目標達成



# 10年間の事業環境の変化



## 鉄鋼事業

- ★エンジニアリング機能強化・提案型営業の推進
- ★加工機能の強化
- ★自動車・家電等の商流強化
- ★物流機能強化とアライアンス

## 非鉄金属事業

- ★新規資源ソースの開発・鉱石資源への参入
- ★合金鉄、軽金属、太陽電池原料等への注力
- ★中国への非鉄原料の拡販

## 食品事業

- ★海外での加工品事業の強化
- ★製品販売部門の設立・育成
- ★国内産水産物の取扱い強化

## 燃料・化成品事業

- ★新エネルギーの事業展開
- ★トレーディング強化
- ★故紙リサイクル事業の推進・樹脂原料の海外展開
- ★生活関連用品分野の拡大

## 中国・アセアン

- ★海外自動車チームを核とした自動車業界への展開
- ★タイ・中国華南での コイルセンターの新規設立 と 加工機能ネットワークの拡大
- ★物資部門の事業展開の強化

## FTA

- ★加速するFTAの潮流に乗ったビジネス・チャンス、有望商材への取組み強化

## 新拠点と機能

- ★ベトナム・インド・ロシア・東欧などでの拠点展開の強化
- ★海外調達機能の強化・品質検査等の管理体制の確立

## リサイクル事業

- ★アーバン・マイニングの視点でのリサイクル事業の強化
- ★効率的な仕入ネットワークの構築
- ★バーゼル条約適用商材の取扱い強化と産業廃棄物の再資源化

## 新規事業・周辺事業

- ★ビジネス・インキュベーション・チームの育成と産学官連携による新規分野の開拓
- ★Eコマースの機能拡大と商材の拡大

## 営業生産性

- ★IT化推進による業務効率の向上
- ★部門間連携による情報共有化と情報ネットワークの構築

## 人材政策

- ★ 研修制度の充実と採用形態の多様化
- ★ 成果主義の推進と納得性のある評価制度の確立

## 投資政策

- ★ 100億円の重点投資枠の設定
- ★ 機敏なリスク判断、スピード感のある投資実行体制の追求

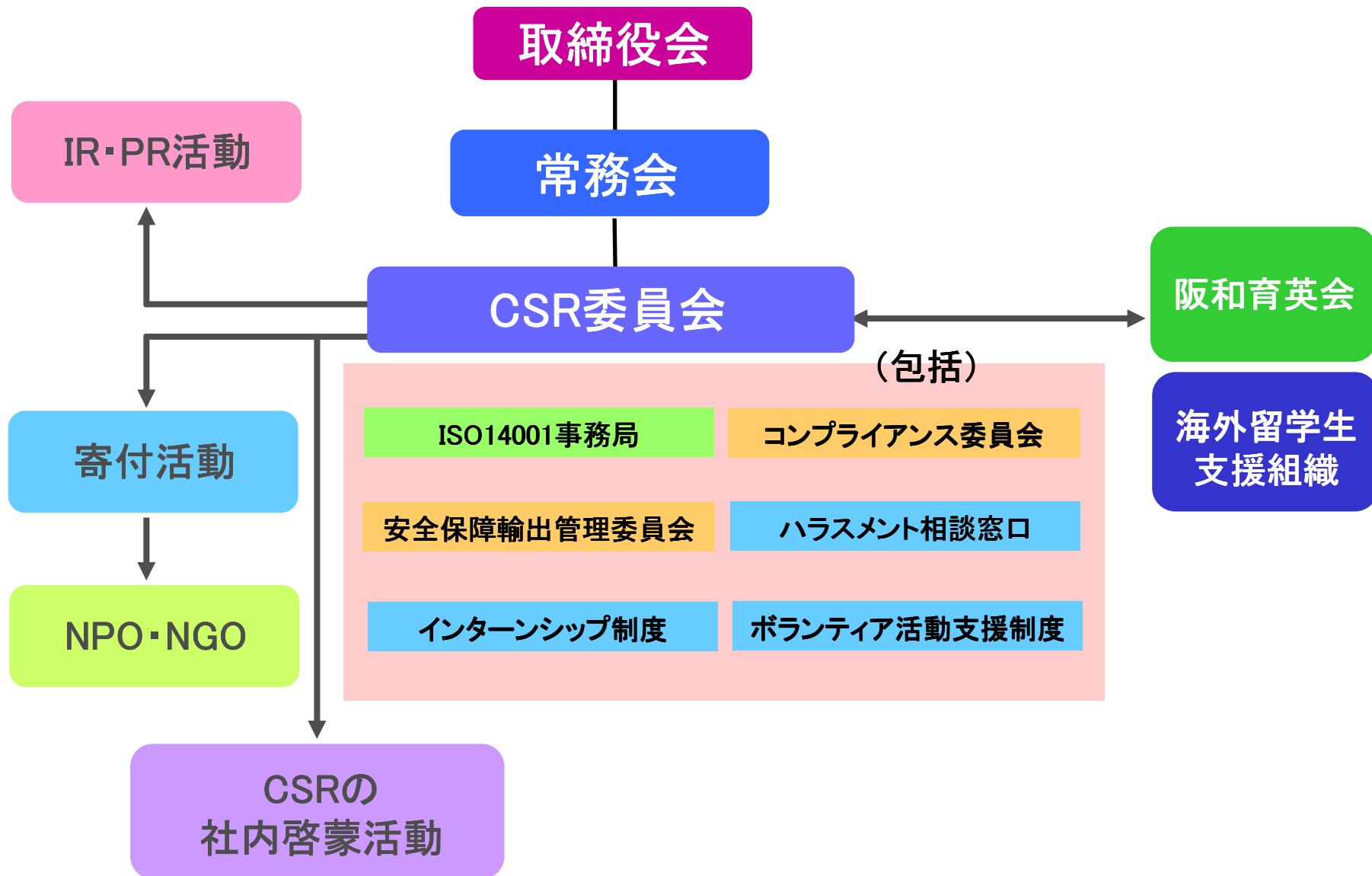
## ● コーポレート・ガバナンスの強化

「取締役評価制度」を導入し 経営の強化を進めていますが、今後もコーポレート・ガバナンスを強化し、経営判断のスピードアップと経営の透明性の向上をめざして、当社としてのガバナンス体制を構築して行きます。

## ● 企業の社会的責任(CSR)活動の積極的推進

企業の社会的責任への活動を積極的に推進し、存在を評価される企業ブランド確立をめざして、「CSR委員会」を設置しました。環境、コンプライアンス、国際・地域社会への貢献などの取組みを推進し、社会とのより良い調和をめざして行きます。







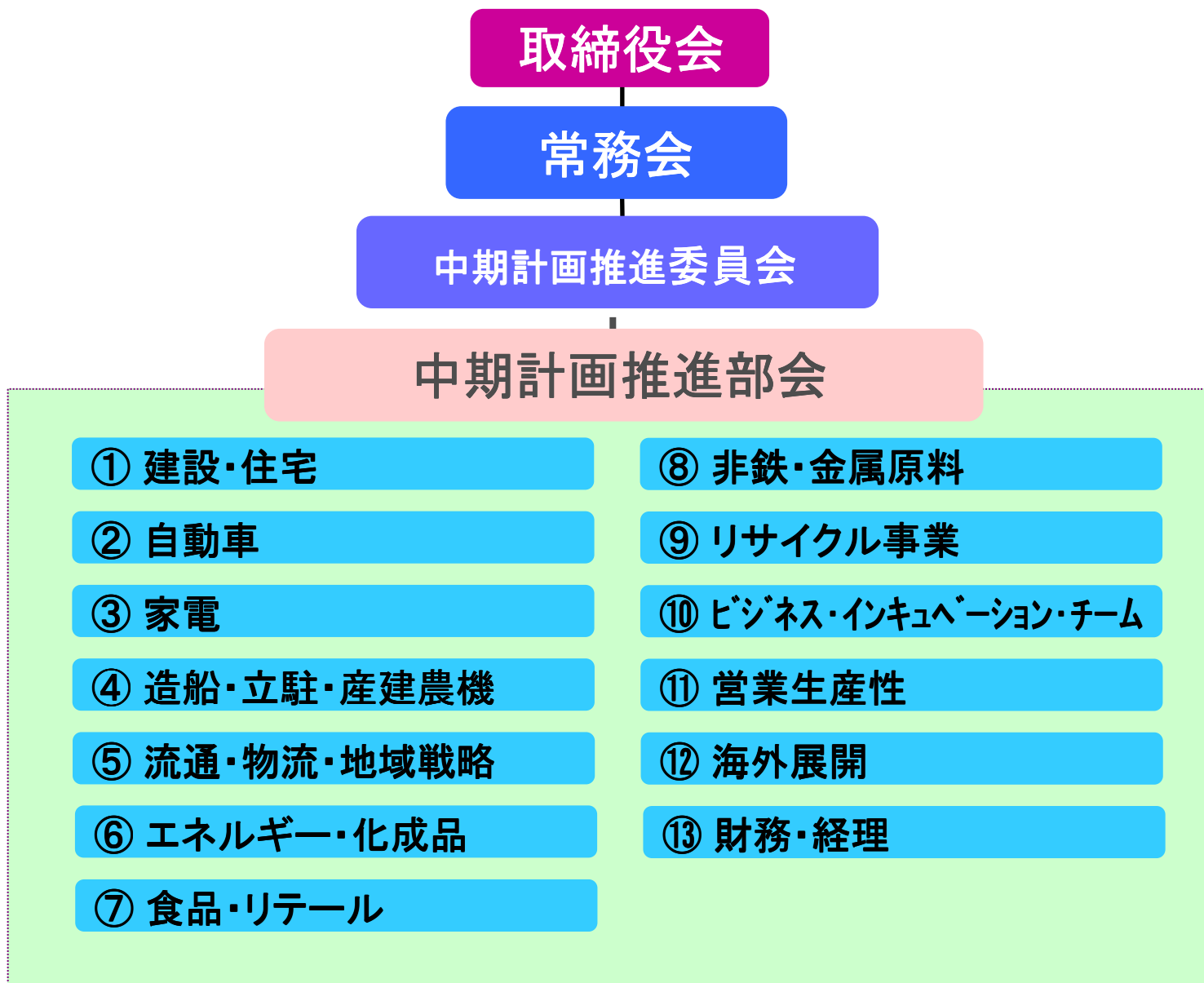
## ● 中期計画推進委員会の設立

### 運営目的・・・

計画の策定に止まらず、中期経営計画に掲げる成長戦略を着実かつ的確に実行し、絶えず検証できる体制を構築することを目的としています。

### 組織形態・・・

各事業分野のみならず、財務戦略や営業生産性の向上などに区分して、組織を横断した13の推進部会からなる、社員300名以上が関わる組織運営を進めていきます。



# 数値目標

	2003年度	2006年度
売上高	7,520億円	9,200億円
営業利益	127億円	156億円
経常利益	104億円	125億円
ROA	2.0%	2.1%
ROE	10.2%	10.0%
BPS	273円	370円
ネットDER	181%	120%



これらの成長戦略の実行と  
「人と社会、環境」のあり方をより重視した  
経営姿勢の実践により、  
持続的な企業成長と社会的な評価を含めた  
企業価値の増大をめざします。



本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。